

パーキンの集い 第1回 ～運動症状～ のご報告

10月4日（金）に行った「パーキンの集い」第1回目の様子をご報告します。

当日は約80名の方が参加していただき、会場もほぼ満員で実施することができました。



今回のテーマはパーキンソン病の運動症状
で、奥村先生から約 30 分講義をして頂き
ました。



パーキンソン病の運動症状

- ◆ 無動・寡動
- ◆ 静止時振戦
- ◆ 筋強剛
- ◆ 姿勢保持障害

- ◆ すくみ現象・加速現象

運動合併症

- ◆ ウェアリングオフ (wearing off) ・オンオフ (on off)
 デイレイドオン (delayed on)
 ノーオン (no on)

- ◆ ジスキネジア (dyskinesia)
 ピークドーズジスキネジア (peak dose dyskinesia)
 ジフェイジックジスキネジア (diphasic dyskinesia)
 オフジストニア (off dystonia)

動画を使った説明が多数あり、非常に
分かりやすい講義となりました。→

症状日記についての講義もあり、当日
来場の方には、講義資料と共に症状日誌
も配付させて頂きました。↓

静止時振戦



症状日記



講義の後、質疑応答の時間となり、たくさんの方からご質問を頂きました。一部を紹介させていただきます。

Q：夜間、自覚なく便が出たのですが、これはパーキンソン病の症状ですか？

A：まず寝ぼけている可能性があります。パーキンソン病の症状としては、レム睡眠行動異常症（後日講義あり）の可能性があります。

Q：薬を飲んだり、飲まなかったりは駄目ですか？

A：本来は良くないが、患者さんの希望に添って、増減はしています。ただ悪性症候群の可能性もあるので、0にすることは難しいです。

Q：首がこわばる。30分寝たら和らぐ。甲状腺腫瘍があるが、それが原因ですか？

またマッサージに言っても良いですか？

A：甲状腺腫瘍が原因で、筋肉の緊張が高まるとは考えにくい。マッサージは行ってもらうのは大丈夫です。

Q：日常生活で気を付けることは？

A：まず第1に転倒に気を付ける。そして運動をする、外出する。外出することにより他の人と話すことも増え、それらがパーキンソン病の進行の予防につながります。

約 20 分の質疑応答がありました。奥村先生から「今回の講義と無関係でもいいので気軽に質問して下さい。こういった場を作ることが大切ですので。」とお言葉もありました。次回もぜひお気軽に、ご参加下さい。

The image displays two side-by-side panels. The left panel is a screenshot of the website for the Osaka branch of the National Parkinson's Disease Friends Association (SSKA). The website header includes the text '全国パーキンソン病友の会大阪府支部' and '～ひとりで悩まないで～'. The main content area features a pink flower image and the text '全国パーキンソン病友の会 大阪府支部のホームページへようこそおめでとうございます。' Below this, there are buttons for '入会のお勧め' and '会報誌「きずな」目次'. The right panel is a flyer for a meeting. At the top, it says 'SSKA 全国パーキンソン病友の会 会報 きずな 大阪府支部だより No. 112'. The date and time are '令和元年12月6日(金) 13時より'. The topic is '薬物治療について'. The flyer also features a central illustration of a dragonfly with Japanese calligraphy around it.

2019/10/5

白井病院